コンピューティングプラットフォームの展望

東洋大学情報連携学部（INIAD）
理化学研究所計算科学研究センター
清水 徹

あらまし

1. 今、コンピュータのR&Dは
2. コンピュータアーキテクチャの原点
3. コンピュータアーキテクチャの実装
4. 高性能化のチャレンジ
5. 何のための高性能化か
6. コンピューティング変革の兆し
7. コンピューティング周りのトレンド
8. まとめ

1. 今、コンピュータのR&Dは

プロセッサのR&D動向

- Hot Chips 2020, Day 1
  - サーバープロセッサ
    - Next Generation Intel Xeon(R) Scalable Server Processor: Icelake-SP
    - IBM's POWER10 Processor
    - Marvell ThunderX3™ Next Generation Arm-Based Server Processor
    - The 5.2GHz IBM z15 Processor
  - モバイルプロセッサ
    - AMD Next Generation 7nm Ryzen(TM) 4000 APU
    - Inside Tiger Lake: Intel's Next Generation Mobile Client CPU

プロセッサのR&D動向

- Hot Chips 2020, Day 1
  - エッジコンピューティングとセンシング
    - Xuantie-910: Innovating Cloud and Edge Computing by RISC-V, Alibaba
    - A technical overview of the Arm Cortex-M55 and Ethos-U55: ARM's most capable processors for endpoint AI
    - PGMA: A Scalable Bayesian Inference Accelerator for Unsupervised Learning, Harvard University
  - GPUとゲーミングアーキテクチャ
    - NVIDIA's A100 GPU: Performance and Innovation for GPU Computing
    - The Xe GPU Architecture, Intel
    - Xbox Series X System Architecture, Microsoft

プロセッサのR&D動向

- Hot Chips 2020, Day 2
  - FPGAとリコンフィギュラブルアーキテクチャ
    - Agilex Generation of Intel FPGAs
    - Xilinx Versal Premium Series
    - Compute Substrate for Software 2.0, Tenstorrent
  - ネットワーキングと分散システム
    - Tofino2 – A 12.9Tbps Programmable Ethernet Switch, Intel/Barefoot
    - Pensando Distributed Services Architecture, Pensando
    - The DPU: A New Category of Microprocessor, Fungible
    - High-density Multi-tenant Bare-metal Cloud with Memory Expansion SoC and Power Management, Alibaba

プロセッサのR&D動向

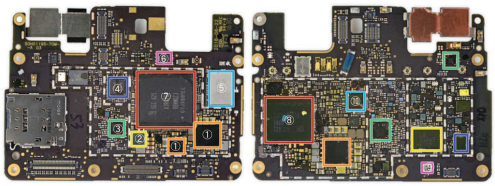
- Hot Chips 2020, Day 2
  - 機械学習(ML)トレーニング
    - Google's Training Chips Revealed: TPUv2 and TPUv3
    - The Second Generation Cerebras Wafer Scale Engine, Cerebras
    - Manticore: A 4096-core RISC-V Chiplet Architecture for Ultra-efficient Floating-point Computing, ETH Zurich
  - 機械学習(ML)推論
    - Baidu Kunlun – An AI Processor for Diversified Workloads, Baidu
    - Hanguang 800 NPU – The Ultimate AI Inference Solution for Data Centers, Alibaba
    - Silicon Photonics for Artificial Intelligence Acceleration, Lightmatter

2. コンピュータアーキテクチャの原点

コンピュータアーキテクチャ

- 何のボードでしょう？

東洋大学INIAD（情報連携学部）講義「コンピュータアーキテクチャ」から



① Power management IC
Quick charge IC
② Smart audio amplifier
③ LTE RF transceiver
④ NFC controller
⑤ Wi-Fi
⑥ Low power IMU
⑦ Processor & mobile DRAM
⑧ 32 GB Universal Flash Storage
⑨ Pressure sensor
⑩ Audio codec

コンピュータアーキテクチャ

- 富士通リレー式コンピュータ FACOM128B

富士通沼津工場池田敏夫記念室にて – 富士通DNA館のご好意により

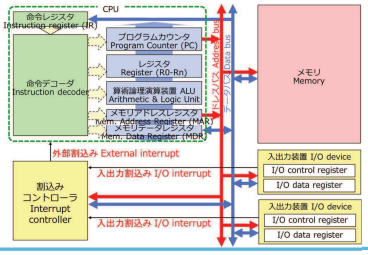
コンピュータアーキテクチャ

- Google Phone: Pixel XL Board

https://www.ifixit.com/Teardown/Google+Pixel+XL+Teardown/71237

コンピュータアーキテクチャのデザイン

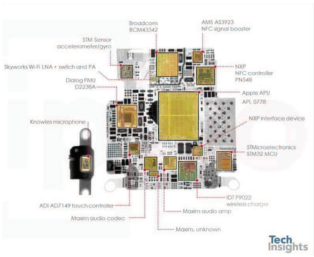
- 現在のすべてのコンピュータの基本構造
  - フォンノイマン・コンピュータ



コンピュータアーキテクチャ

- 何のボードでしょう？

東洋大学INIAD（情報連携学部）講義「コンピュータアーキテクチャ」から



コンピュータアーキテクチャのデザイン

- フォンノイマン・コンピュータの基本
  - CPUとメモリが1本のバスで接続
    - 命令やデータの位置は、CPUが生成するアドレスで指定される
  - メモリには命令とデータが格納されバスを介して読み書きされる
    - CPUは、メモリに格納された命令コードをデータとして読み書きできる
  - プログラムでプログラムを編集、変換、合成することができる
    - 従って、コンピュータの機能をソフトウェアで自己拡張できる
  - ➡プログラミングモデルを定めている

コンピュータアーキテクチャ

- Apple watch S1 processor

http://www.techinsights.com/abouttechinsights/overview/blog/apple-watch-teardown/

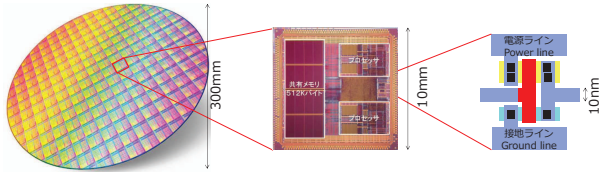
3. コンピュータアーキテクチャの実装

コンピュータアーキテクチャの実装

- フォンノイマン・コンピュータ開発の方針
  - プロセッサ（CPU）とメモリが分離、バスで接続
  - プロセッサとメモリ、それぞれ専門にR&D
  - LSIチップの高集積化（Moore's law）でR&Dを牽引
- チップ高集積化（Moore's law）の効果
  - 回路規模 ➡ チップ面積 ➡ 製造コスト
  - 回路遅延 ➡ クロック周期 ➡ 動作周波数
  - スイッチング回数×トランジスタ数 ➡ 消費電力

コンピュータアーキテクチャの実装

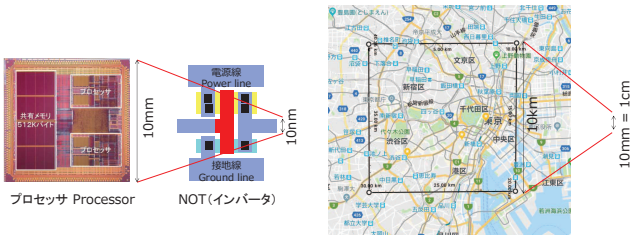
- ウェハ Wafer➡チップ Chip➡ゲート Gates



シリコン・ウェハ Silicon wafer　チップ Chip　NOT（インバータ）

コンピュータアーキテクチャの実装

- LSIチップ設計の規模と精度

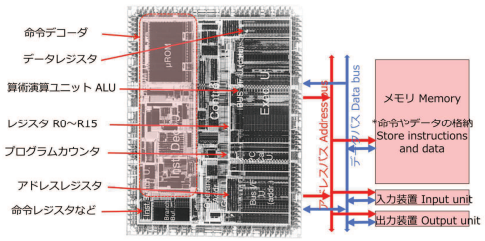


プロセッサ Processor　NOT（インバータ）

マイクロプロセッサの30年

マイクロプロセッサの30年

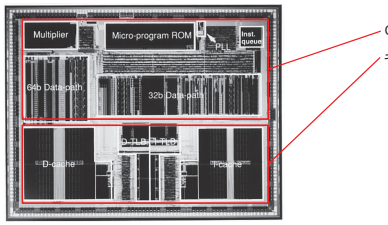
- 1990: TRON "Gmicro/100" 1000nm (1μm) 25MHz



"The Gmicro/100 32-Bit Microprocessor", IEEE Micro (Aug. 1991)
「32ビットMPU Gmicro/100」, 日経エレクトロニクス (1989.7.10)

マイクロプロセッサの30年

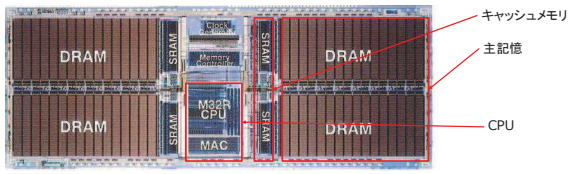
- 1993: Main-frame CPU "PXB1" 800nm 40MHz
  - 40MHz以上ではキャッシュは不可欠 Cache is essential above 40MHz.



"A 1.71 M-transistor CMOS CPU chip with a testable cache architecture", IEEE ISSCC (1993)

マイクロプロセッサの30年

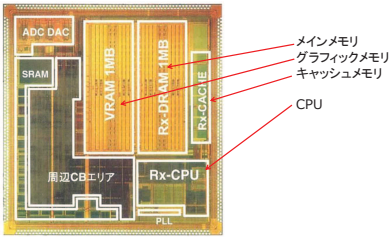
- 1996: "M32R/D" 450nm 66MHz
  - DRAMのメインメモリ内蔵 DRAM main memory is embedded.



"A multimedia 32 b RISC microprocessor with 16 Mb DRAM", ISSCC (1996)

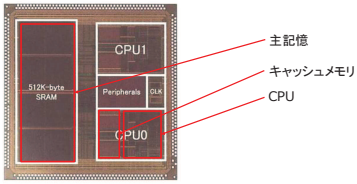
マイクロプロセッサの30年

- 1999: "A camera chip with M32R/D" 180nm 90MHz
  - カメラ画像処理内蔵 Built-in camera image processing.



マイクロプロセッサの30年

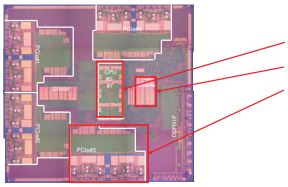
- 2003: "M32R multicore" 150nm 600MHz
  - 対称型のマルチコアを内蔵 Symmetric multicore in a chip.
  - Linux SMPを移植 Linux SMP is ported.



"A 600 MHz single-chip multiprocessor with 4.8 GB/s internal shared pipelined bus and 512 kB internal memory", ISSCC (2003)

マイクロプロセッサの30年

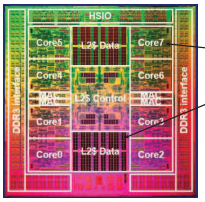
- 2011: “M32R multicore” 45nm 400MHz
  - マルチポートのネットワーク制御用チップ
    Multiport network control chip



“An 80Gb/s Dependable Communication SoC with PCI Express I/F and 8 CPUs”, ISSCC (2011)

マイクロプロセッサの30年

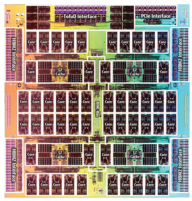
- 2010: Fujitsu “SPARC64 VIIIfx” 45nm 2000MHz
  - High performance computer (HPC) 京 K’s CPU chip



“Sparc64 VIIIfx: A New-Generation Octocore Processor for Petascale Computing”, IEEE Micro (2010)

マイクロプロセッサの30年

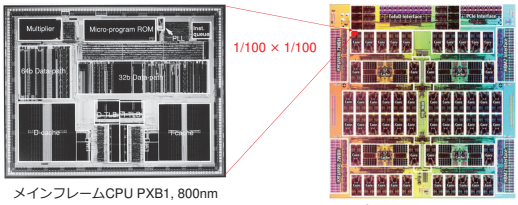
- 2018: Fujitsu “A64FX”, 7nm
  - HPC 富岳 Fugaku’s CPU chip



“Fujitsu High Performance CPU for the Post-K Computer”, Hot Chips (2018)
「スーパーコンピュータ富岳の開発」, サイエンティフィック・システム研究会HPCフォーラム (2019)

マイクロプロセッサの30年

- マイクロプロセッサのこれから
  - CPUを「ネジ、釘」として
  - フレキシブルな階層コンピューティング

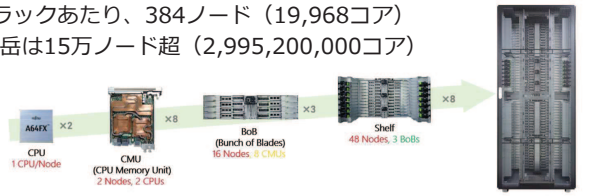


メインフレームCPU PXB1, 800nm
スパコンCPU A64FX, 7nm

4. 高性能化のチャレンジ

高性能化のチャレンジ

- 富岳の高性能化技術
  - 1ノードあたり、1CPU（52コア）
  - 1ラックあたり、384ノード（19,968コア）
  - 富岳は15万ノード超（2,995,200,000コア）



高性能化のチャレンジ

- 高性能化の基本戦略
  - 動作周波数の向上
    - チップ製造技術の微細化
    - パイプライン処理
  - 並列処理
    - 命令並列
    - 演算並列
    - マルチスレッド（スレッド並列）
    - マルチコア（CPUが複数）
    - マルチコンピュータ（コンピュータが複数）
  - プロセッサ-メモリ間バスの高性能化
    - 内蔵キャッシュメモリの大容量化
    - 高周波数化、多ピン化

高性能化のチャレンジ

- 高性能化の基本戦略
  - 動作周波数の向上
    - チップ製造技術の微細化 ➡ すべてのプロセッサ
    - パイプライン処理 ➡ すべてのプロセッサ
  - 並列処理
    - 命令並列 ➡ すべてのプロセッサ
    - 演算並列 ➡ GPU、DSP (Digital Signal Processor)、スパコン
    - マルチスレッド（スレッド並列） ➡ 今や、すべてのプロセッサ
    - マルチコア（CPUが複数） ➡ 今や、すべてのプロセッサ
    - マルチコンピュータ（コンピュータが複数） ➡ クラウド・サーバー、スパコン
  - プロセッサ-メモリ間バスの高性能化
    - 内蔵キャッシュメモリの大容量化 ➡ すべてのプロセッサ
    - 高周波数化、多ピン化 ➡ すべてのプロセッサ

高性能化のチャレンジ

- 高性能化の壁：消費電力と集積度（コスト）

高性能化のチャレンジ

- 高性能化の壁：消費電力と集積度（コスト）
  - コア数と動作周波数の傾向

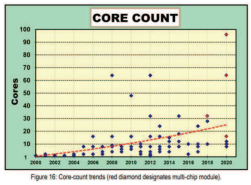


Figure 16: Core-count trends (red diamond designates multi-chip module).

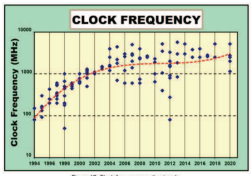


Figure 17: Clock-frequency-scaling trends.

ISSCC 2020 Press kit より

高性能化のチャレンジ

- 高性能化の「壁」
  - 動作周波数の向上
    - LSIチップ製造技術の微細化 ➡ 消費電力増大、チップコスト高騰
    - 命令パイプライン処理 ➡ 多段化に限界（パイプラインハザード）
  - 並列処理
    - 命令並列 ➡ 並列化に限界（パイプラインハザード）
    - 演算並列 ➡ 並列プログラミング
    - マルチスレッド（スレッド並列、タスク並列） ➡ 並列プログラミング
    - マルチコア（CPUが複数） ➡ 並列プログラミング、並列処理OS
    - マルチコンピュータ（コンピュータが複数） ➡ 並列処理OS
  - プロセッサ-メモリ間バスの高性能化
    - 高周波数化、多ピン化 ➡ 高周波数・多ピン実装

5. 何のための高性能化か

何のための高性能化か

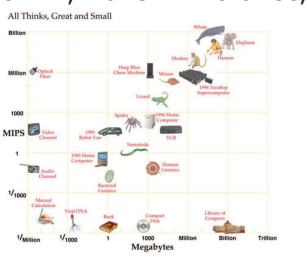
- コンピュータの高性能化は必ず新しいアプリケーションを生んできた
- 従来の方針で高性能化が難しくなってきた今、何のための高性能化か再確認することは重要
- 超高性能コンピューティングはなぜ必要か？

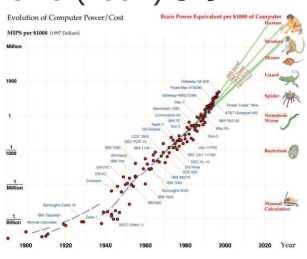
何のための高性能化か

- “The Age of Robots”, Hans P. Moravec, CMU (1993) より
  - 2000-2010: 1,000 MIPS〈第1世代汎用ロボット〉
    - 爬虫類クラス … トカゲぐらい？
    - 汎用の知覚、操作、機動性（General-purpose perception, manipulation and mobility）
  - 2010-2020: 30,000 MIPS〈第2世代汎用ロボット〉
    - 哺乳類クラス … ネズミぐらい？
    - 適応性が高い学習（Accommodation learning）
  - 2020-2030: 1,000,000 MIPS 〈第3世代汎用ロボット〉
    - 霊長類クラス … サルぐらい？
    - ワールドモデリング（World modeling）
  - 2030-2040: 30,000,000 MIPS 〈第4世代汎用ロボット〉
    - 人間クラス
    - 解析・推論・理論化（Reasoning）

何のための高性能化か

- “When will computer hardware match the human brain?”, Hans P. Moravec, CMU (1997) より

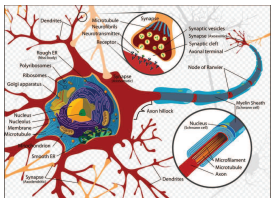




6. コンピューティング変革の兆し

コンピューティング変革の兆し

- ニューラルネットワーク
  - ニューロンとその接続（シナプス）でコンピューティング
    - メモリ：ニューロンがシナプスに信号を伝える重み
    - プロセッサ：シナプスからの刺激でニューロンが発火
    - ネットワーク：ニューロン間の接続関係
  - プログラミングが課題
    - プログラミング＝トレーニング
    - プログラム＝トレーニングデータ
    - 実行＝推論
  - 実現方法が課題
    - デジタル: GPU, ASIC, CIM?
    - アナログ: CIM, Spiking NN?



コンピューティング変革の兆し

- 命令・プログラムの並列処理、高速化は限界
  - 命令並列
  - 演算並列
  - マルチスレッド（スレッド並列）
  - マルチコア（複数のCPU）
  - マルチコンピュータ（複数のコンピュータ）
- 更に細粒度の並列処理をコンピューティングに活用
  - リコンフィギュラブル・コンピューティング
  - ニューラルネットワーク・コンピューティング
  - 量子コンピューティング

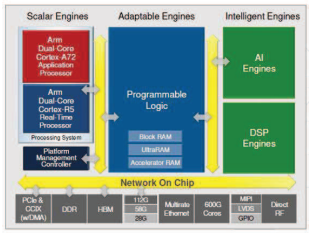
コンピューティング変革の兆し

- 量子コンピュータ、イジングマシン
  - 組合せ最適化問題の並列処理ソリューション
    - 量子による高度な並列処理
    - 量子ビット数増の段階
    - 電力や集積度は議論以前
    - 汎用性はどの程度か？

日経 2019.11.23より

コンピューティング変革の兆し

- リコンフィギュラブル・プロセッサ
  - プログラムを直接、論理回路にマッピング
    - データフローグラフには適
    - コントロールフローには課題
  - 電力と集積度は課題
  - プログラミング・モデルは？



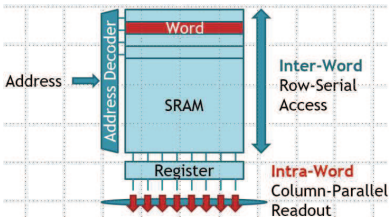
"Xilinx First 7nm Device: Versal AI Core (VC1902)", Hot Chips 2019より

コンピューティング変革の兆し

- 細粒度の並列処理のプログラミング
  - リコンフィギュラブル・コンピューティング
  - ニューラルネットワーク・コンピューティング
  - 量子コンピューティング
- プログラミングモデルの変革は避けられない
  - 小変革？
  - 大変革？
  - ミックス？

コンピューティング変革の兆し

- コンピューティング・インメモリ（CIM）
  - ワード内セルの並列処理
  - デジタルもアナログもある
  - アプリ特化：
    - DNN（Deep Neural Network）
    - アニーリング
  - メモリ技術の継承・拡張
    - デジタル：コストが課題
    - アナログ：安定性が課題



参照：2019 Riken International Workshop on Neuromorphic Computing
"AI on the Edge: Frontiers for Energy-Efficient Hardware Architectures", 本村先生より

7. コンピューティング周りのトレンド

プラットフォームのオープン化

- RISC-V
  - プラットフォームのソフトウェア技術はオープン化してきた

Open Interfaces Work for Software!

Field	*Open Standard*	*Free, Open Implement.*	*Proprietary Implement.*
Networking	Ethernet, TCP/IP	Many	Many
OS	Posix	Linux, FreeBSD	M/S Windows
Compilers	C	gcc, LLVM	Intel icc, ARMcc
Databases	SQL	MySQL, PostgresSQL	Oracle 12C, M/S DB2
Graphics	OpenGL	Mesa3D	M/S DirectX
ISA	??????	----------	x86, ARM, IBM360

- Why not successful free & open standards and free & open implementations, like other fields?

アプリの時代

- IoT - 森川研・川原研フォーラムより（2019）
  - IoTは、ネットワーク、給電、センシング、アプリのアイデア

M-01 CT-LoRa: Enabling High-efficient and Omnipresent IoT Network
M-02 LoRa を用いた位置指紋に基づく屋内外位置測位
M-03 電波環境マップ構築に向けた空間補間手法の性能改善
M-04 遠距離型 LED—スマートフォンカメラ間通信
M-05 協調機械学習におけるオンデバイス処理の軽量化
M-06 降雨と氾濫解析データの平滑性に基づく事前氾濫解析を用いた早期氾濫予測
M-07 SCADA データを用いた風車異常検知
M-08 重畳音声分離向けラダーネットワーク
—聴覚音声特徴量スパース性に対する分離再構成音声品質—
M-09 海外調達を想定した同時補充方策 —枝分かれ Q 学習エージェントによる学習—
M-10 営業活動における意思決定システムの開発および適用
M-11 Liquid Holdup Prediction in Oil and Gas Wells
Using a Decision Tree Regression Predictive Model
M-12 チップレス RFID への情報書き込み技術
M-13 漏液量界抑制型ワイヤレス給電
M-14 メッシュ導体近似解析によるワイヤレス給電装置の金属筐体自動設計

U-01 Multimode QSCR：部屋中どこでもワイヤレス充電
U-02 AIvus: 給電領域を自由に構成可能な 2 次元無線給電システム
U-03 切断により形状の変更が可能な無線電力伝送シート
U-04 REVOLUTIONARY 20XX! : Speculative Design ToolKit
for Beginners
U-05 温度差発電駆動型土壌センサの開発
U-06 poimo - Portable and Inflatable Mobility -
U-07 パーソナルモビリティ向け無線給電ステーション
U-08 形状記憶合金で駆動するイモムシ型ソフトロボット
U-09 ヘビの鱗から着想を得た摩擦異方性表皮を持つソフト・ロボット
U-10 銀ナノインクの印刷で作る折り紙スピーカー
U-11 センサーとアクチュエータの一括印刷で作るソフトロボット
U-12 銅テープ論理回路による折り紙ロボットの制御
U-13 ソフトアクチュエータの音響特性を利用した長さセンシング

プラットフォームのオープン化

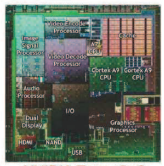
- RISC-V
  - 1つのSoCにたくさんの命令セットアーキテクチャ（ISA）

Today, many ISAs on one SoC

- Applications processor (usually ARM)
- Graphics processors
- Image processors
- Radio DSPs
- Audio DSPs
- Security processors
- Power-management processor
- > dozen ISAs on some SoCs – each with unique software stack

Why?

- Apps processor ISA too big, inflexible for accelerators
- IP bought from different places, each proprietary ISA
- Engineers build home-grown ISA cores



NVIDIA Tegra SoC

アプリの時代

- eスポーツ – 横浜ITクラスター交流会より
  - eスポーツ = ゲームのスポーツ化、スポーツのゲーム化

プラットフォームのオープン化

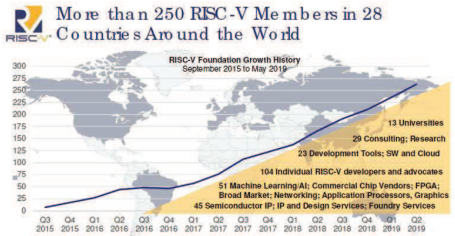
- RISC-V
  - RISC-Vは、オープンソースのISA
  - なぜISAをオープンにするか
    - ソフトウェア開発・蓄積の効率化
    - ライセンス・フリー
    - オーナー企業依存のリスク削減
    - 品質向上のスピードアップ
    - セキュリティ向上
    - ツールなどのサポートコスト削減

アプリの時代

- eスポーツ
  - それを実現するためのセンサー、IoT

プラットフォームのオープン化

- RISC-V
  - RISC-V FoundationというNPOが立ち上げられている

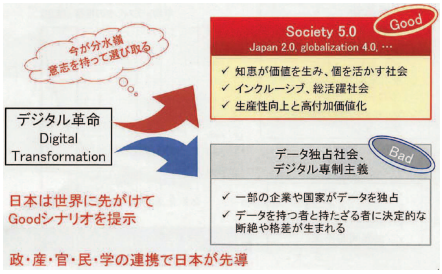


データ・ドリブン

- データとは？
  - データソース
    - 組織や社会に蓄積されたデータ（ビッグデータ）
    - 社会環境や自然環境のセンシングデータ（IoTデータ）
  - データ形式
    - 整理されたデータ（データベース）
    - 生データ
  - データ参照方法
    - データベース検索
    - 検索エンジン
    - AI処理で情報抽出

データ・ドリブン

- データが価値の原点

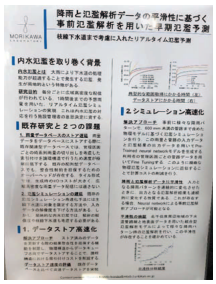


コンピュータアーキテクチャの変革

- ダウンサイジング
  - IBM PC (1981), Apple iPhone (2007)
- Moore's law
  - 「半導体の集積率は18か月で2倍になる」(1965)
- フォンノイマン・コンピュータ
  - EDVACに関する報告書の第一草稿（1945）
- そろそろ変革が必要？
  - 消費電力と高集積コスト
  - 古くなったから、という訳ではない
    - T型フォードは1908年から
  - プログラミングモデルの議論が不可欠
  - アプリの議論が不可欠

データ・ドリブン

- データ活用の提案例 – 東大で開催された「データ活用社会創成シンポ」より



ありがとうございました

データ・ドリブン

- 現状のAI処理
  - パターン・画像認識の機械学習化に成果
    - 教師有り学習だけでなく、教師無し学習にも成果
    - 膨大なトレーニングデータが必要
    - 結果の説明性について課題（人間の認識とのマッチング）
  - 仮説の設定、原理の抽出は課題

8. まとめ